

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0170501969		
法人名	有限会社 札幌福祉サービス		
事業所名	グループホーム いこいの家		
所在地	札幌市厚別区上野幌1条6丁目1番25号		
自己評価作成日	令和2年11月1日	評価結果市町村受理日	令和2年12月17日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0170501969-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=0170501969-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
-------------	---

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者本位のサービスを提供できるように、常に利用者の要望及びご家族様等の要望を実践し、またより良い生活ができるように、スタッフ一人一人が意識して利用者として接し、日々のモニタリングにて介護計画への反映、サービスの改善・向上に繋がるように努めている。  
町内のサロン、茶会等に参加し地域の住民との交流を図り、ホームの理解を深めていただけるように働きかけを行っているが、本年に関しては新型コロナウイルス感染症の影響により、交流は中止している。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 サンシャイン
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F
訪問調査日	令和2年11月25日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「グループホームいこいの家」は、新札幌エリア郊外の閑静な住宅地にある民家改築型1ユニットの事業所である。雪印園芸センターに隣接し周囲には緑も多く季節の移ろいを身近に感じられる環境で、庭にある多種の樹木や花々、野菜を植え育てるなど昔馴染みのエクステリアは和む雰囲気がある。手摺りや滑り止めマットなど要所への設置はあるがバリアフリー化はしておらず日常生活そのものが機能訓練につながり階段昇降や廊下往復、ビデオ・棒体操、脳機能訓練での言葉探しなど生活機能の改善又は保持のための機能訓練を様々な取り入れている。今年度は感染症予防対策で中止や自粛となっているが、例年、住民憩いの場である「あい愛サロン」の茶会やカラオケ等への参加、町内会秋祭り、子ども神輿での触れ合いなど地域との交流が行われ、昨年度は保育園との相互交流の実現に至るなど利用者の生活の幅を広げている。介護計画は職員1人ひとりが評価表を作成しており今後のより良いケアの実践に活かしている。階段昇降で足の運びがスムーズになった方や家事作業で積極性が生まれ生活に張りが見られた事例など計画と支援、モニタリングの一体的な取り組みが効果を上げている。家族への情報提供や職員全員による隔年の内部評価、目標達成計画の実現など管理者が中心となりサービスの質の向上に努めている。職員は利用者と一緒にゆったりと過ごす事を大切に家庭的な環境の中で利用者本位の生活の実現に向け努力を続けている事業所である。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I.理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎日の申し送り時に職員で理念を唱和し、常に利用者本位のケアが出来るよう心掛けている。	「利用者本位」「家族交流と連携」「資質の向上」「地域交流と貢献」の4つの基本理念を標榜している。パンフレットに明示し利用開始時に家族へ説明している。理念を玄関や居間等に掲げ、毎月の会議において支援の振り返りや確認を行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内のサロン・茶会に参加し、地域との交流に心掛けている。また地域の清掃行事等に参加をしている。今年は利用者の交流はコロナの影響で中止とされていた。	感染症対策のため自粛であるが例年、地域住民の交流の場「あい愛サロン」に出向き茶会やカラオケなどで親睦を深め関連施設の夏祭りや町内会の秋祭りに参加している。また昨年度は保育園との相互交流の実現に至った。今年は園児が散歩途中で手を振ってくれている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議にて、町内会長や民生委員、ボランティアの方々に参加していただいている。今年は書面会議としていた。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	一年の日程でテーマを決め、2か月ごと開催している。会議では、利用者の様子、避難訓練、食中毒、災害対策、利用者様の家族アンケート、利用者ご家族へのお便り等について報告、意見交換を行っている。今年に限り書面会議としている。	今年6月からは書面会議とし、事業所の現況を始め社内会議での内容報告や必要に応じ資料を添付し疑義や質問等を受ける態勢で運営している。会議メンバーは行政機関・家族の他、支え合い活動委員やボランティア代表など地域関係者の参加を得ている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市区の管理者会議に参加している。また、運営推進会議では、地域包括支援センター、介護予防センターの職員に参加頂き、情報交換、連携をおこなっている。今年中止が多い。	管理者は行政の担当部署へ書類の手続き等に出向いている。市の担当部署からのアンケート調査に協力したり、感染対策の通知や情報提供等のメールが多く届いている。今年中止であるが厚別区GH合同研修会へ参加し協同関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関する指針を作成し、身体拘束適正化委員会を定時開催し、職員間で共有できるよう努めている。今現在は拘束行為は行っていない。三原則を満たしていない場合は拘束はしない。	「身体拘束に関する指針」を定めている。2か月に1度職員会議にて身体拘束適正化委員会を開催し、スピーチロックや不適切ケア等について討議している。これらに係る内部研修は年3回以上行っている。防犯上の理由により玄関を施錠している。	現行の身体拘束適正化委員会の運営態勢に鑑み、身体拘束に関する指針を整備し改定する意向であるので、その取り組みに期待したい。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている	職員が定例の会議等において、何が虐待行為になるのかを意識し、利用者の身体の状態等、身体上の変化にも常に注意を払っており、虐待防止に努めている。		

グループホーム いこいの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	必要とする方に活用できるように支援している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項説明書等を基に契約時に丁寧に説明し、同意を得ている。利用者の状態変化により、契約解除に至る場合には、ご家族の他、本人を交えて対応方針を十分に相談している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様本人の希望やご家族へのアンケート等を取り、意見、要望を頂き、また、面会時には気楽に要望等を頂けるような雰囲気作りにも努め、出された意向等には、ミーティング等で話し合い、反映している。	現在、利用者から買い物の要望があった際は同行支援を自粛し職員が代行し対応している。家族から本人に日常生活の作業をさせて欲しい旨の要望にも得意分野を見つけ適宜対応している。事業所便りは写真付きで個別便りと共に送付している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎日の申し送り、職員会議の他、日常会話の中等、様々な機会に職員の意見や提案を聞くよう努め、働く意識の向上や質の向上に繋げている。	職員とは必要に応じて個別に話をする機会を設け、都度、相談に応じている。毎月の職員会議等で職員の意見や提案を取り入れ一緒に調整している。仕事分担や年間行事計画、シフトや休憩時間などについての意見等を運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	労働基準法、安全法を守った労働条件や健康診断を行っている。職員の資格取得に向けた支援も行っている。また勤務時間内容も現状に合わせ職員に負担の内容に見直しを行っている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	サービスの質の向上に向け、外部研修への派遣、会議等で、その報告をし、働きながら学ぶ職場研修等に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	厚別区内グループホームの合同研修会等や地域ケア連絡会等に参加し、学んだ事や感じた事等を職員会議の中で報告している。また、認知症についての相談会にも参加し、他施設の事例等を話し合うことでケアの質の向上に繋げている。本年は中止となった。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前面談で必ずご本人にお会いし、生活状況や要望、不安を把握するよう努め、信頼関係を築けるよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族との信頼関係を大切にし、家族の要望や不安等傾聴する機会を作り、サービスに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人、ご家族の思いや状況等を確認し、医療機関や担当のケアマネージャーとも連携し、より良い生活づくりに努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食器拭き、洗濯物干し、テーブル拭き、食品の盛り付け等お手伝いして頂ける事は参加頂き、感謝の意を伝え、充実感を感じて頂けるよう努めている。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	受診時の同行、付近の散歩のご協力等のご協力を頂いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナウィルス感染症対策を徹底した上、ご家族やご友人の面会時はゆっくり落ち着いて、楽しく過ごして頂けるよう配慮している。ご要望のある時には、要望に添えるよう努めている。	今年度は感染症対策で自粛であるが、例年、食事やドライブ、年末年始の外泊や一時帰宅、墓参など利用者が家族と一緒に過ごす機会をサポートしている。感染対策を整え家族と一緒に周辺の散歩に出かけている利用者がある。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者のその日の状態や利用者同士の関係に配慮し、必要に応じて席順を変えたり、会話を促したりすることで、気兼ねなく交流していただけるよう努めている。		

グループホーム いこいの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	家族等の依頼等があれば、ご希望に添えるようにフォローを行っている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者との関わりの中で、言葉や行動、表情で思いや意向を理解するよう努めると共に、ご家族からも情報を得るように努めている。	日常の雑談の中で時々を選択肢を提示し、嗜好や意向を汲み取るようにしている。本人や家族からの日常生活に関する意向の申し出もある。介護記録にその都度記録し情報を蓄積している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人、ご家族、関係者から聴き取るようにし、生活歴や病歴など、情報収集に努め介護に活かしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日頃の行動や動作から生活リズムを把握し、個々の力を伸ばして行けるよう努めている。日々変化する状態も見逃さないよう努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々変化している利用者の体調や状態を敏感に察知し、随時、その時の状況に応じた対応、計画作成を行っている。医療機関とも連携し、素早く対応、計画に入れることができるように努めている。	初回アセスメントは家族の協力の元、センター方式にて作成している。短期目標の評価表は職員1人ひとりがそれぞれシート記入している。利用者担当職員がアセスメント・ケアプラン導入シートに取り組むなど、モニタリングの積み重ねと共に関係者間の意見等を反映させた計画作成に努めている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	食事、水分量、排泄、入浴等の日々の様子や発言内容を記録し、現状に即した計画となるよう随時見直している。また、記録は全員が閲覧し、情報を共有している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人の精神状況や行動に合わせた柔軟な対応を行い、食事についても要望に応じ個別に食材を提供している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ禍にて交流を中止している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人やご家族の要望を取り入れ、希望のかかりつけ医がある方には、受診して頂いている。また、必要な情報の提供等を行っている。	協力医療機関による2週に1度の往診、必要時の歯科の往診体制を整えている。看護師は週1回職員として配置し健康管理支援を行っている。家族による通院受診時は診療科目により医療機関へ直接情報提供している。往診受診記録を整備している。	

グループホーム いこいの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員に利用者の身体状況を伝え、相談している。また、利用者への注意事項を記録し、全職員が共有するようにしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	適切な治療を受け、早期退院に結び付くよう、ご家族や医療機関との情報交換に努めている。また、職員がお見舞いに出向いて利用者に安心してもらったり、その際の利用者の情報を職員が共有するよう努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	急変時に対応できるようにご家族を交えて医師と話し合う体制が出来ている。	「医療連携体制の確保と重度化・看取り対応の指針」について利用契約時に説明している。重度化等にあつては医師の指示や判断を仰ぎ関係者間で話し合いを進め今後の対応方針の合意を図っている。老人保健施設等への移行支援を行った事例がある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを作成し、職員会議等でも話し合い、対応できるようにしている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	コロナ禍にて職員や入居者だけの訓練としている。	今年度は5月10日に夜間想定で火災避難訓練を実施し、昨年度の避難訓練には地域住民の参加を得ている。実施後、訓練参加職員による振り返りが行われている。非常災害対策計画を定め家族にも計画書の送付を行っている。	冬場での災害(停電時)に備えた資材や備蓄品の整備に取り組む考えを示しているので、その実施に期待したい。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	更衣等や排泄等についてもプライバシーを確保し、日々の会話においても人格を尊重するように接している。	日々の支援の中で職員の言葉や語調が利用者の尊厳を損ねていないかを職員会議や研修、身体拘束適正化委員会で確認している。介護記録はパソコンで記録し取り扱いに留意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	表情やしぐさ等からも、その方の思いを汲み取れるよう努めている。本人の希望により日常の過ごし方を決定している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人の気持ちや体調を優先にした個別性のある支援となるよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人へ衣類の選択、希望に添えるよう配慮し、季節や気温に応じた衣替えをしている。		

グループホーム いこいの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の好みや食べる力等を把握し、美味しく召し上がっていただくため、個々に応じた料理の形状で提供している。また、利用者様の要望にも添える食材を提供している。	苦手な食材は代替で個別に対応し、食べやすい調理形態で提供している。鯛焼きやデザートのおやつ作り、漬物作り、盛り付けなどで利用者が力を発揮している。季節の行事食や今年度は外食レクを出前寿司に変更するなど楽しめるようにしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の水分量、食事量をチェック表にて確認している。また栄養状況により、エンシュアリキッドやエレンタール等の栄養補助食品を使用している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後本人の力を考慮し、必要な方には介助し、口腔ケアを行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	オムツやパットは必要な方のみ使用し、トイレ誘導等個々の排泄パターンに合わせてケアしている。	排泄状態や変化などを記録し排泄パターンや習慣を把握している。本人の排泄動作での自立面を大切にし、出来ないところをサポートしている。失敗せず気持ち良くトイレで排泄ができるよう配慮した声かけやトイレ誘導を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	利用者によっては下剤を減らす為にオリゴ等を摂取していただき、下剤不要になる等効果を上げている。下剤使用の場合、その日の排便状況や体調に合わせ、適宜分量の調節を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	午後の決まった時間に入浴対応しているが、ご本人の気分や体調に合わせ、意思を尊重して行っている。	利用者1人週2回、午後の時間帯で設定しているが、本人の体調や気分を考慮しつつ支援している。職員は入る順番や湯加減、入浴習慣などに応え、昔話と一緒に歌うなど利用者が気分転換となるよう工夫している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	温度、湿度に注意し、布団類の調節を行い安眠できるように配慮している。また、ソファベッドや布団を用意し、利用者がいつでも昼寝や休憩をできるようにしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個別の記録に処方薬の情報を添付し、いつでも確認できるようにしている。処方薬の変更や追加があればすべて記録し、職員全員が内容を把握できるような体制が出来ている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食器洗い、洗濯物、おしぼり畳みやトランプ、カラオケ等、個々の気分や体調に応じて、生きがい、楽しみが持てるよう支援をしている。		

グループホーム いこいの家

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ禍にて制限が大きく、ご家族との外出の機会も一部、本人の体調等を見ながら実現できるようにしている。	例年、気候のよい時期には町内の散歩やバラ園散策、法人関連施設の夏祭りや町内会秋祭り、地域交流の場である「あい愛サロン」に出かけている。今年度は外出を自粛しているが、感染症対策を取りつつ広々としたファームへの見学ドライブや近隣の園庭への散歩、家族との散歩などをサポートしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者の状況に応じて、金銭を管理している。買い物外出等、お金を使える機会があれば使えるよう支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人のご家族、大切な人に電話したり、ご家族からの電話があれば、ご本人に代わって頂き、会話を楽しんで頂いている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホーム内の随所に手すりや滑り止めを設置し、安全に生活して頂けるよう努めている。また、庭に季節の野菜を栽培している。また、春夏秋冬は庭先に鉢植えを置き色とりどりの花々を利用者様が楽しめるようにしている。室内においても季節の観葉植物を設置している。	共用空間の居間や食堂は3方向の窓から陽が差し込み明るい造りである。大きなソファでテレビを楽しみ、食堂テーブルで作業をしたり居心地よい場所となっている。庭には樹木が植えられ、室内には花や種から育てたアボガドの鉢植えが置かれている。絵画や利用者の作品が掲示されている。加湿器、空気清浄機を設置している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居間では、利用者同士が楽しく談笑できるよう見守り、必要があれば間に入り、ストレスなく過して頂けるよう配慮している。居室で過したい時は、本人らしい生活が出来るよう支援している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具や写真、ぬいぐるみ等を持ち込んで頂き、その方らしい部屋作りが出来るよう支援している。	居室入り口に自室と分かるよう大きめに名字を掲げ見当識に配慮している。使い慣れた家具や日用品類、位牌など大切な品々が持ち込まれている。思い出の写真や愛着のあるものが飾られ、安心できる居室作りを支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	目配り、気配りを常に心がけ職員の見守りの中で、出来る限り自立して過して頂けるよう気を配っている。また、センサーも導入し、事故等への安全性にも配慮している。		

目標達成計画

事業所名 グループホームいこいの家

作成日：令和 2年 12月 15日

市町村受理日：令和 2年 12月 17日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束に関する指針の中に現状行っている身体拘束適正化委員会についての記述がなかった。	身体拘束に関する指針に身体拘束適正化委員会の事項について記載。	身体拘束に関する指針に身体拘束適正化委員会の事項について記載。	1ヶ月
2	35	冬場での災害(停電時)に備えた資材や備蓄品の整備の更なる拡充。	現在災害に対しての食料やストーブの燃料、その他の必要な物品等は備蓄をしているが、厳冬期における停電等の災害に対する備えとしては十分とは言えないので拡充したい。	必要物品の拡充を行う。	6ヶ月
3					
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。